

# かごしま 市議会だより

定例会は年4回

第1回  
(2・3月)

第2回  
(6月)

No.372

第4回  
(12月)

第3回  
(9月)

令和8年2月1日  
第4回定例会号



令和8年初競り～鹿児島の台所「さつま黒潮市場」、威勢よく～

※「さつま黒潮市場」は、鹿児島市中央卸売市場魚類市場の愛称です。

## 第4回定例会 スタジアム候補地調査業務を含む一般会計補正予算を可決

令和7年第4回定例会は、12月2日から19日までの18日間にわたって開かれました。

この定例会では、かごしま水族館など30施設の「公の施設の指定管理者の指定に関する件」をはじめ、福平小学校校舎増築その他本体工事など4件の「工事請負契約締結の件」、スタジアム候補地調査業務等についての債務負担行為の設定などを含む「令和7年度鹿児島市一般会計補正予算（第5号）」などの議案56件のほか、陳情13件を議決しました。

また、閉会中の継続審査の取り扱いとなっていた令和6年度一般会計、特別会計および企業特別会計の決算関係議案15件を議決しました。

### 〔議決された主な議案の要旨〕

#### ▶令和7年度一般会計補正予算（第5号）

##### ◎主な内容

- ・歩いて楽しめるまちづくり推進事業
- ・甲突川千本桜再生プロジェクト事業

#### ▶鹿児島市ビーチハウス条例一部改正

- ・磯ビーチハウスのリニューアルに伴い、シャワー室の使用料の額を改めるとともに、管理室の使用許可等に係る条文を整備するもの

#### ▶公の施設の指定管理者の指定に関する件（27件）

- ・かごしま水族館、かごしま温泉健康プラザ、鴨池公園水泳プールなど30施設

#### ▶鹿児島市夜間急病センター条例一部改正

- ・夜間急病センターの受付終了時刻を定めるもの

#### ▶工事請負契約締結の件（4件）

- ・福平小学校校舎増築その他本体工事など

## 目次

2～4面

個人質疑から

4面

委員会から

5面

特集  
決算関係議案審査

6面

議案等に対する  
各会派等の表決態度



編集・発行：鹿児島市議会

〒892-8677

鹿児島市山下町11-1

☎099-216-1454 (政務調査課直通)

☎099-224-1111 (市役所代表)



市議会だよりに関するご意見募集中です

E-mail [seimuchousa@city.kagoshima.lg.jp](mailto:seimuchousa@city.kagoshima.lg.jp)

ご意見はこちらからでも投稿できます▶▶▶▶▶▶▶▶▶▶





# 個人質疑から

第4回定例会では15人の議員が個人質疑を行いました。  
その中から一部を紹介します。  
録画放映は各二次元コードからご覧いただけます。  
(掲載記事は質疑順ではありません。)

## 第4回定例会

12月8日

(1日目)



西 洋介 (自民党市議団)  
たてやま清隆 (日本共産党)  
大木ひかる (無所属)  
まつおはるよ (立憲社民)  
佐藤高広 (自民党市議団)

12月9日

(2日目)



永谷さよこ (立憲社民)  
大園たつや (日本共産党)  
のぐち英一郎 (にじとみどり)  
小南まさゆき (公明党)  
片平孝市 (市民連合)

12月10日

(3日目)



せぐち和浩 (無所属)  
山下 要 (自民党市議団)  
小森こういちろう (自民党市議団)  
和るりか (立憲社民)  
向江かほり (立憲社民)

## 行政運営

### 市政広報

問 令和8年度の市政広報テレビ番組を4番組から3番組に見直すとした経緯は。また、業者選定にあたって、障害のある方に対する考え方や発信の工夫の取り組みを提案させるのか。

答 市政広報テレビ番組については、市民のライフスタイルや情報入手手段が多様化する中、地域の視聴者ニーズを日頃より把握している地元テレビ局の創意工夫を生かした企画提案を募り、選定することにより、親しみやすく分かりやすい構成で、より効果的に市政情報を届けることができるよう見直しを行うこととした。

また、業者選定のための企画提案競技においては、これまでと同様、全ての番組を手話通訳付きで制作・放送することを求めるとともに、視聴する人の障害の有無や年齢にかかわらず、より分かりやすい番組とするための工夫を含めて提案してもらうことを考えている。

### 公共交通不便地における交通手段の見直し案

問 あいばすの朝7時台の便の運行廃止による利用者の減少や、デマンド交通・乗合タクシーの導入により敬老バスが利用できなくなることによる負担増についての認識は。また、これらの課題に対する今後の対応は。

答 今回のあいばすの見直し方針では、路線バスを含め運転者が不足している状況等を踏まえ、小中学生の日常的な通学利用が確認できた地域以外では8時台からの運行としたところであり、影響は限定的であると考えている。また、乗合タクシーについては、一般的のタクシーと比べて安価な運賃設定とするほか、地域の高齢化やニーズを考慮し、自宅付近での乗降を可能とするなど、利便性の向上を図っていきたい。

今後は、令和8年度から、見直し方針に基づいた運行を順次していく予定としているが、見直し後も引き続き利用者数等を分析し、利用実態や住民ニーズを捉え、運行改善に努めていきたい。



## 危機管理

### 屋内運動場の空調整備

問 市立小中学校における屋内運動場等の避難所の指定状況は。空調整備の取り組み状況および優先順位を決めるにあたっての考え方と、桜島の大規模噴火時の避難所への配慮は。

答 避難所に指定している市立小中学校95校のうち、屋内運動場が洪水浸水想定区域等に立地しており、雨の降り方によっては校舎への垂直避難等も想定しているものは、洪水で54校、土砂災害で6校であり、地震については全校避難可能である。また、

桜島の大規模噴火に係る島外避難の際の避難所としている学校は、32校である。

空調整備の実績はないが、令和8年度の整備に向けて7年度は10校の設計を行っており、対象校は、避難所の開設順位や地域バランス等を関係部局からなる検討委員会において総合的に検討し、選定している。桜島の大規模噴火時の避難所の空調整備については、現在設計を行っている10校のうち4校が対象となっており、今後も、優先順位には配慮していきたい。

## 環境・衛生

### 剪定枝資源化事業

問 剪定枝資源化事業の背景および目的は。また、剪定枝の収集量減少と経費増大の理由、費用対効果に対する現状認識は。

答 同事業は、家庭ごみに含まれる草木類の割合が全体の約5分の1を占めていたことから、もやせるごみの減量化と資源化を目的に令和2年度から開始したものである。

収集量が減少している理由は、高齢化の進行や住環境の変化等が考えられ、また、経費増大の主な理由は、施設整備費や人件費の増である。

これまで、委託先の見直しやシステム改修等により、経費の削減に努めてきたところであり、「家庭ごみマイナス100グラム」の達成に寄与するなど、ごみの減量化・資源化に効果があったと考えているが、一方で、収集量は減少傾向にあり、資源化率は伸び悩んでいることなどの課題があることから、より実効性を高める改善が必要と考えている。



## 健康・福祉

### 動物愛護行政

問 これまでの動物愛護管理センターの負傷動物への診療体制および動物愛護サポートのボランティア中の診療体制と市の対応は。また、同センターの新たな取り組みと、治療をボランティア任せとする体制からの脱却について見解は。



答 同センターの負傷動物の診療体制は、十分な設備がないため、鹿児島地区獣医師会および鹿児島大学共同獣医学部に無償で協力をもらっている。動物愛護サポートのボランティア中は、その対象外であり、体調不良時は同センターへ返却可能だが、現状では、同センターが必要に応じて治療等を行っている。

令和7年度から新たに、同サポートの活動に治療サポートを追加し、市内の動物病院に勤務する獣医師が同センターの収容動物を預かり、治療する取り組みを開始しており、治療については、動物愛護基金を活用し、負傷動物やボランティアの実態を踏まえ、対応していきたい。

## 救急情報キット

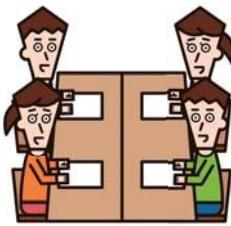
問 本市の救急情報キットと社会福祉協議会において配布されているキットとの共通点、相違点およびその理由。また、普及により目指すものは。



答 両キットはいずれも、緊急時の連絡先や医療情報などが記載された救急情報シート等を容器に入れて保管しておくものであるが、本市のキットについては、必要な方がいつでも準備できるよう、同シートのホームページへの掲載や、ペットボトル等を活用した作成を案内している。同キットは、高齢者等の急変時において、本人の情報を把握し、迅速かつ適切な救急活動に役立てることができるために、高齢者等が住み慣れた地域で、安心して暮らしていくための一助となるよう、普及に取り組んでいきたい。

## 子ども学習・生活サポート事業

問 子ども学習・生活サポート事業における「学習会」のこれまでの取り組み、課題および評価は。また、令和7年度の拡充内容は。



答 経済的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身に付いていない小学4年生から中学生までの児童生徒を対象に、市内3カ所の公共施設で週1回、夏休み期間中は週2回の学習支援を行っている。

会場が少ないと支援に携わる人材の確保などの課題があるが、参加者や保護者から「自分のペースで無理なく参加できた」「高校受験で合格できた」などの声が寄せられているほか、「学習会」に参加していた子どもが大学生になり、支援する側として取り組みに携わる事例が出てくるなど、学力の向上や貧困の連鎖の防止に一定の成果があったものと考えている。

7年度からは、生活保護世帯への家庭訪問などを通じて、進路選択や学習・生活環境改善に向けた支援を行っているほか、進学を目指す子どもにオンライン等による学習支援を行っている。

## 子育て

### 児童クラブ

問 市設置児童クラブと民間児童クラブの夏休みの利用料金は。また、民間児童クラブしかない校区があることから料金差を改善すべきと考えるが、見解は。

答 児童クラブの夏休み料金について、市設置児童クラブは通常月と同額の約5,500円である。民間児童クラブは約3割が通常月と同額であるが、8月に夏休み料金を設定しているクラブの本市助成後の平均額は約9,000円、最高額は17,000円である。民間児童クラブにおいては、開所時間が長いなどそれぞれの運営体制や内容が多様であることなどから、市設置児童クラブの利用料金との差が生じている状況であり、料金差の改善については今後、他都市調査を行うなど各方面から研究していきたい。



## 産業・農業

### 情報産業発展の支援策

問 情報産業支援策等の現状および今後の取り組みは。

答 本市では、クリエイティブ産業創出拠点施設において、エンジニアをはじめとしたクリエイティブ人材の育成を図るセミナーの開催や各種相談支援等を行っているほか、情報通信業等の企業立地に取り組んでいる。また、小規模事業者の生産性向上を促進するため、専門家の伴走支援によるICTツールの導入助成を行っているところである。

距離的・時間的な制約がなく、地方でも競争力を持つことができる情報通信業を本市の将来の基幹産業に育てるため、DXの急速な進展など社会経済情勢を踏まえ、引き続き、ICTを利活用できる人材や企業の育成、市内ICT関連企業の支援、戦略的な企業立地に取り組みたい。



▲中小企業経営者向けセミナーの様子

## 観光

### 多機能複合型スタジアム候補地

問 県市の協議の進捗状況に対する評価は。また、今回の2カ所の候補地案（鹿児島サンロイヤルホテル敷地等および県立鴨池庭球場敷地）でも、多機能複合型を目指すのか。

答 これまで、市長が知事と候補地選定に向けた考え方などについて意見交換を行ななどしてきた。候補地については、国有地、県有地、市有地だけでなく、民有地も検討対象とし、リストアップ作業を行っていたものの、条件に適合する土地が見つからない状況が続いていたが、今般、県と一緒に候補地選定に取り組み、2カ所を調査し、比較検討することを県と確認したことは一步前進できたものと考えている。今回の調査においては、まずは2カ所の敷地にスタジアムが配置可能か、また庭球場の移設が可能であるか確認するとともに、両案を比較検討するために必要な調査が中心であり、複合施設導入の可能性については、活用可能なスペースの状況等を踏まえ今後検討したい。



## まちづくり

### 市営住宅退去時の原状回復費用の負担軽減

問 本市の市営住宅退去時の原状回復費用の令和6年度実績は平均24万円であるが、県内自治体の状況は。また、本市に提出された署名の内容、筆数およびその受け止めと、それらを踏まえての見解は。

答 県と人口7万人以上の4市を対象に、7年10月に実施した調査によると、退去者負担の平均額は10万円から18万円である。

また、署名は1,174筆で、同費用の負担軽減などを求めており、入居者の率直な声が提出されたものとして受け止めている。同費用については、見直しを検討している。

※退去時の原状回復費用(修繕費用)は、8年1月以降の退去世帯から見直されています。

## 空き家対策

問 空き家をどのような方法で把握し、調査しているのか。また、近隣住民等から相談があった場合の本市の対応と空き家の状態に応じてどのような対策を準備しているのか。さらに、空き家の防火対策は。

答 空き家については、近隣住民等からの相談により所在を把握し、現地確認などを行っている。相談があった場合は、現地調査の上、所有者等を調査・特定し、助言等を行っており、活用が可

能な空き家には、空家活用アドバイザーの派遣やリフォーム補助、状態が悪い空き家には、解体補助を行っている。

また、消防局では、本市火災予防条例に基づき、所有者または管理者に対し、空き家への侵入防止や周囲の可燃物の除去など、火災を防止する上で必要な措置について指導を行っている。

## 子どもたちによるバスケットゴールの設置要望

**問** 上町ふれあい広場などへのバスケットゴールの設置を要望する子どもたちが集めた署名への対応・経過は。また、こどもの未来応援条例や、市長が目指す「こどもまんなか社会」「若い世代に選ばれるまちづくり」との整合性についての認識は。

**答** 上町ふれあい広場は有料施設であり、イベント開催など全面利用もあることから、バスケットゴールの設置は困難としている。また、上町の杜公園および大平田公園への設置については、ゴール板への衝撃音や夜間の騒音などを考慮すると、周辺地域の同意が重要だが、いずれも同意が得られていないところである。

子どもたちが要望活動を通じて市政に参加することは、主体性や社会性を育てる上で重要であると認識している。



▲子どもたちが集めた署名

## 教 育

### 不登校の児童生徒等への支援

**問** 不登校の児童生徒や保護者同士の交流の機会の内容およびその成果と課題は。また、今後の支援の考え方は。

**答** フレンドシップ体験交流事業において、宿泊型体験交流や高校見学会、保護者向けの交流・相談会等を実施しており、日程調整や人員確保等の課題もあるが、参加した児童生徒や保護者から「集団生活の楽しさや自分の良さの再確認になった」「子どもの可能性を感じることができるようになった」などの感想があり、高校見学会に参加した生徒が学校に復帰し、見学先の全日制高校に進学するなど、社会的自立を後押しするとともに、保護者の不安を和らげる機会となっている。

今後も、どのような学校であれば行けるのかという支援ニーズや、本人の意思や興味・関心も含め、児童生徒の思いに寄り添いつつ、個に応じた具体的な支援を行うことが重要であると考えている。

## 消 防

### 火災予防条例一部改正

**問** 林野火災注意報・警報創設の背景と概要、想定している火の使用制限の対象区域は。また、市民への周知方法は。

**答** 林野火災注意報・警報は、令和7年2月に発生した岩手県大船渡市の林野火災を踏まえ、林野火災予防の実効性を高めることを目的として新たに設けられたもので、降水量などの指標に基づき市が発令し、たき火等の火の使用を制限するものであり、市内全域を対象区域に想定している。

注意報発令時には、安心ネットワーク119や消防車による巡回広報などにより周知することとしており、警報発令時には、注意報よりさらに注意を促す必要があることから、防災行政無線や市公式SNSなどにより周知することとしている。



## 委員会から

### 多機能複合型スタジアム整備検討事業

**問** スタジアムの整備に向けては、引き続きオール鹿児島で取り組むこととしているが、同整備は県外からの集客効果も見込まれ、ひいては県全体の観光振興にも寄与することから、同整備に係る費用負担に関して、早急に県へ働きかけるべきと考えるが、見解は。

**答** 県は、議会において「スタジアムの具体的な機能や規模のほか、概算費用等が明らかになってからの協議になる」と答弁しているが、本市としては、同整備にあたっては、多くのファンに愛され、親しまれるスタジアムづくりを目指し、県、市、クラブ、関係団体、民間企業がそれぞれの役割を果たしながら、その中で民間のノウハウや資金等も活用し、オール鹿児島で一緒になって取り組んでいきたいと考えており、指摘を踏まえ、県と協議していきたい。

### 防火水槽撤去工事に伴う建物等被害への賠償

**問** 工事の概要とこれまでの経過および補正予算の内容は。

**答** 旧松元町が上谷口町の民有地に設置し、平成16年の市町村合併に伴い本市が引き継いだ防火水槽の撤去工事であり、土地所有者からの依頼により着工した。今回の工事の規模等を勘案した場合、通常、事前調査は行わないが、土地所有者から同防火水槽の設置時に家屋等に損傷があったとの申し出があったことから、当該民有地のみ、建物等事前調査を行った。工事にあたっては、低振動・低騒音の機械を使用するなど十分に配慮したものの、撤去箇所の埋め戻し時点で、周辺住民から建物の揺れや損傷、工事中止の申し出があり、コンクリート舗装復旧等の工事を打ち切り、コンサルタント会社による建物等事後調査を実施した。今回の補正予算は、申し出のあった10棟のうち、交渉が調った3棟分の賠償金となっており、その対象は家屋の基礎部分や擁壁等の亀裂補修および同補修に係る足場設置である。

**問** 今回、事後調査を行った上で賠償金を算定しているが、因果関係を明確にするため、さらに専門的な調査が必要ではないか。また、今後の工事発注の在り方は。

**答** 今回は民有地であったことから、事前の振動調査等は行っておらず、賠償金を算定した3棟については、専門のコンサルタントに委託し、目視による事後調査を行ったところである。今後、他都市の事例や判例なども調査し、既存住宅に影響が出ないよう関係者の理解を得た上で、地質や家屋の専門家等の指導をいただきながら、同工事に使用した機械を用いた同じ条件による実証実験を行いたい。また、今後の工事発注にあたっては、事前調査等の必要性について十分検討した上で行うとともに、残りの7棟についても、早期解決に向け誠意をもって対応したい。

消防水利整備事業（上谷口町防火水槽撤去工事に伴う建物等被害への賠償金）については、質疑経過等を踏まえる中で建設消防委員会として全会一致で附帯決議を付しました。

### ～附帯決議（要旨）～

- 委員会審査の過程での指摘を踏まえ、建物や構造物の亀裂が防火水槽撤去工事によるものか、因果関係を具体的かつ専門的な調査により明らかにした上で、議会に対し説明がなされない限り、当該予算の執行は留保されたい。
- 委員会審査における指摘が解消され、予算執行のめどが立った場合は、適宜適切に委員会に対し報告されたい。

# 特集 令和6年度 決算関係議案審査

令和6年度の一般会計および特別会計の決算議案を審査するため、7年第3回定例会において「決算特別委員会」を設置し、閉会中に審査を行いました。また、4つの公営企業（病院・交通・水道・船舶）の特別会計決算関係議案については、同じく閉会中に、所管の常任委員会である「産業観光企業委員会」で審査を行いました。

なお、一般会計、特別会計および企業特別会計の決算関係議案15件については、第4回定例会において、いずれも認定・可決しました。（各会派等の表決態度および議決結果は6面に掲載しています。）

委員会	審査期間	審査議案
決算特別	令和7年11月4日～17日（10日間）	一般会計歳入歳出決算、国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算など9議案
産業観光企業	令和7年11月4日～5日（2日間）	病院事業特別会計決算、交通事業特別会計決算、水道事業特別会計決算、船舶事業特別会計決算等について議会の認定を求める件など6議案



アジア太平洋都市サミット  
(令和6年8月開催)

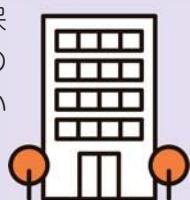
## 決算特別委員会 審査の過程で出された意見等の一部を紹介します。

### 企業立地推進事業

**問** 従業員数が協定時の計画に届いていない状況について、本市が対策を講じることで、今後の企業立地だけでなく、新卒者の県外流出防止や移住促進にもつながるのではないか。今後の取り組みは。

**答** 立地企業に対しては、訪問やその後の支援等も行っており、令和6年度は、立地企業のPR職場見学会の実施回数や定員の拡大を図ったところである。

引き続き、人材確保策を含め、立地企業の支援に努めていきたいと考えている。



### 学校プール共用化等検討事業

**問** 同事業の目的の一つであるプールの改築や維持管理費用の縮減等の費用対効果、また、今後の方向性は。

**答** 令和6年度はモデル事業として民間施設への委託料とバス借り上げ料の合計が約194万円であったのに対し、事業対象の2小学校のプールの年間維持管理費用は約170万円にとどまっているが、改築に要する費用は1校当たり約2億円が必要となる。

民間施設への委託は、7年度も小規模校を対象に実施しているが、中規模校も視野に入れたモデル事業を実施するとともに、隣接校、近隣校でのプールの共用化や公共施設の活用についても検討していきたい。



### 不用額の取り扱い

**問** 令和6年度一般会計決算では、総額99億7,670万円の不用額が生じている。事業費が早期に確定した場合、できるだけ早い時期に減額補正し、その財源を市民要望などの実現に向けた事業に活用すべきでは。

**答** 毎年度、府内に示す予算執行方針において、不用額の減額について、適宜・適切に補正予算等での対応を図るとともに、厳しい財政状況の中でも、市民サービスに影響が生じることがないよう、常に市民目線に立った問題意識やコスト意識を持つことや、事業の優先順位等について通知している。

また各事業課では、同方針に基づき、隨時、補正予算の必要性等を財政課と協議し対応しており、今後とも留意していきたいと考えている。

### 産業観光企業委員会

**問** 令和6年度船舶事業特別会計決算について、6年7月に運賃改定を行ったが、その影響をどのように分析するか。

**答** 旅客数については、近年の観光需要の高まりやインバウンドの増加などにより、対前年度比2.3%の増となっており、値上げに伴う大きな影響はなかったところである。

一方、車両台数については、対前年度比6.1%の減となっており、桜島・大隅地域の人口減少や東九州自動車道との競合の影響等による、これまでの平均的な減少率は年3%程度であることから、値上げに伴う影響が一定程度あったものと考えている。

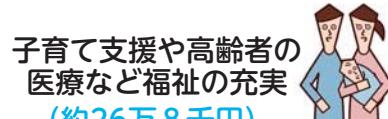
「令和6年度決算のあらまし」は、市ホームページでご覧いただけます。



## 市民1人当たり約50万4千円※の使い道は？

※令和6年度一般会計歳出決算額（2,966億円）を市民1人当たり（7年4月1日現在の人口：58万8,583人）に換算しました。

子育て支援や高齢者の医療など福祉の充実（約26万8千円）



市の運営など（約5万9千円）



市債の返済（約4万6千円）



教育の振興（約3万8千円）



道路や公園整備、区画整理など（約3万3千円）



環境や衛生の向上（約2万9千円）



商業・観光・農林水産業の振興（約1万9千円）



消防・救急（約1万2千円）



# 議案等に対する各会派等の表決態度(令和7年第4回定例会)

○賛成 ×反対

	件名	自民党市議団	立憲社民	公明党	市民連合	日本共産党	にじとみどり	無所属A	無所属B	無所属C	無所属D	無所属E	無所属F	結果
			議案(決算関係)	議案(決算関係以外)	陳情									
議案(決算関係)	▼令和6年度鹿児島市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	○	○	認定
	▼令和6年度鹿児島市病院事業特別会計決算について議会の認定を求める件	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	
	▼令和6年度鹿児島市交通事業特別会計決算について議会の認定を求める件	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	
	▼令和6年度鹿児島市船舶事業特別会計決算について議会の認定を求める件	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	
	▼令和6年度鹿児島市水道事業剩余额分についての議会の議決及び令和6年度鹿児島市水道事業特別会計決算についての議会の認定を求める件	○	○	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	
	▼令和6年度鹿児島市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	
	▼令和6年度鹿児島市特別会計歳入歳出決算関係〔3件〕 〔・地域下水道事業特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計〕	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	
	▼令和6年度鹿児島市特別会計歳入歳出決算関係〔4件〕 〔・地区画整理事業清算特別会計・中央卸売市場特別会計 ・桜島観光施設特別会計・母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計〕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	▼令和6年度鹿児島市公共下水道事業特別会計決算について議会の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	▼令和6年度鹿児島市工業用水道事業剩余额分についての議会の議決及び令和6年度鹿児島市工業用水道事業特別会計決算についての議会の認定を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案(決算関係以外)	▼令和7年度鹿児島市一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	原案可決及び認定
	▼公の施設の指定管理者の指定に関する件〔27件 かごしま水族館など30施設〕													
	▼和解に関する件													
	▼桜島地域における幼保一元化のための関係条例の整備に関する条例制定の件													
	▼鹿児島市重度心身障害者等医療費助成条例一部改正の件													
	▼鹿児島市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件													
	▼鹿児島市夜間急病センター条例一部改正の件													
	▼鹿児島市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件													
	▼鹿児島市幼保連携型認定こども園の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件													
	▼鹿児島市家庭の保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件													
	▼鹿児島市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例一部改正の件													
	▼鹿児島市認定こども園の認定の要件を定める条例一部改正の件													
	▼鹿児島市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件													
	▼鹿児島市児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例一部改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	▼工事請負契約締結の件〔福平小学校校舎増築その他本体工事〕													
	▼鹿児島市立学校条例の一部を改正する条例一部改正の件													
	▼鹿児島市ビーチハウス条例一部改正の件													
	▼鹿児島市一般貸切旅客自動車乗車料条例一部改正の件													
	▼工事請負契約締結の件〔武岡住宅101号棟新築本体工事〕													
	▼工事請負契約締結の件〔武岡住宅101号棟新築給排水衛生設備工事〕													
	▼公有水面埋立てについての意見に関する件													
	▼鹿児島市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例一部改正の件													
	▼鹿児島市手数料条例一部改正の件													
	▼鹿児島市火災予防条例一部改正の件													
	▼工事請負契約締結の件〔本庁舎東別館非常用発電その他設備改修工事〕													
	▼令和7年度鹿児島市特別会計・企業特別会計補正予算関係〔5件〕 〔・中央卸売市場特別会計(第1号)・交通事業特別会計(第2号) ・水道事業特別会計(第1号)・公共下水道事業特別会計(第2号) ・船舶事業特別会計(第2号)〕													
陳情	▼「(仮称)日置市及び鹿児島市における風力発電事業」の早期着工について													採択
	▼八重地区における自然エネルギー事業の推進について													
	▼鹿児島市における再生可能エネルギー推進と環境学習の充実について	○	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	
	▼郡山地域におけるクリーンエネルギーとグリーンツーリズムの推進について													
	▼八重山周辺における風力発電事業の推進について													
	▼「(仮称)日置市及び鹿児島市における風力発電事業」の計画について〔2件〕													
	▼(仮称)かごしま郡山風力発電事業について	×	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	
陳情	▼(仮称)かごしま郡山風力発電事業について〔2件〕	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	不採択
	▼全国大会等出場奨励金制度の創設について〔2件〕	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	
	▼吉野地区土地区画整理事業で出た建設残土の無許可盛土の撤去及び風致地区内行為許可書の取消し等について	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

会派名等	議員数	所 属 議 員 名	会派名等	議員数	所 属 議 員 名
自民党市議団	17人	小森こういちろう いけやま美月 西 洋介 山下 要	市民連合	4人	合原ちひろ 伊地知紘徳 三反園輝男 片平孝市
		中元かつあき 霜出佳寿 米山たいすけ 佐藤高広	日本共産党	3人	園山えり たてやま清隆 大園たつや
		瀬戸山つよし 奥山よしじろう 川越桂路 山口 健	にじとみどり	2人	のぐち英一郎 大園盛仁
		古江尚子 仮屋秀一 中島蔵人 平山 哲	無所属A	1人	大原葉
		入船攻一	無所属B	1人	田代よしき
			無所属C	1人	大木ひかる
立憲社民	7人	うかりともえ 永谷さよこ 和 るりか まつおはるよ 向江かほり 平山タカヒサ 大森 忍	無所属D	1人	せぐち和浩
公明党	6人	小南まさゆき 甲斐ひろのぶ 上入佐あゆみ こじま洋子 松尾まこと 長浜昌三	無所属E	1人	本田かずき
			無所属F	1人	池田ゆうせい

6 次号の発行予定 次号は令和8年5月1日に発行する予定です。

この広報紙は、紙へのリサイクルに適した材料を用いて作成しています。

